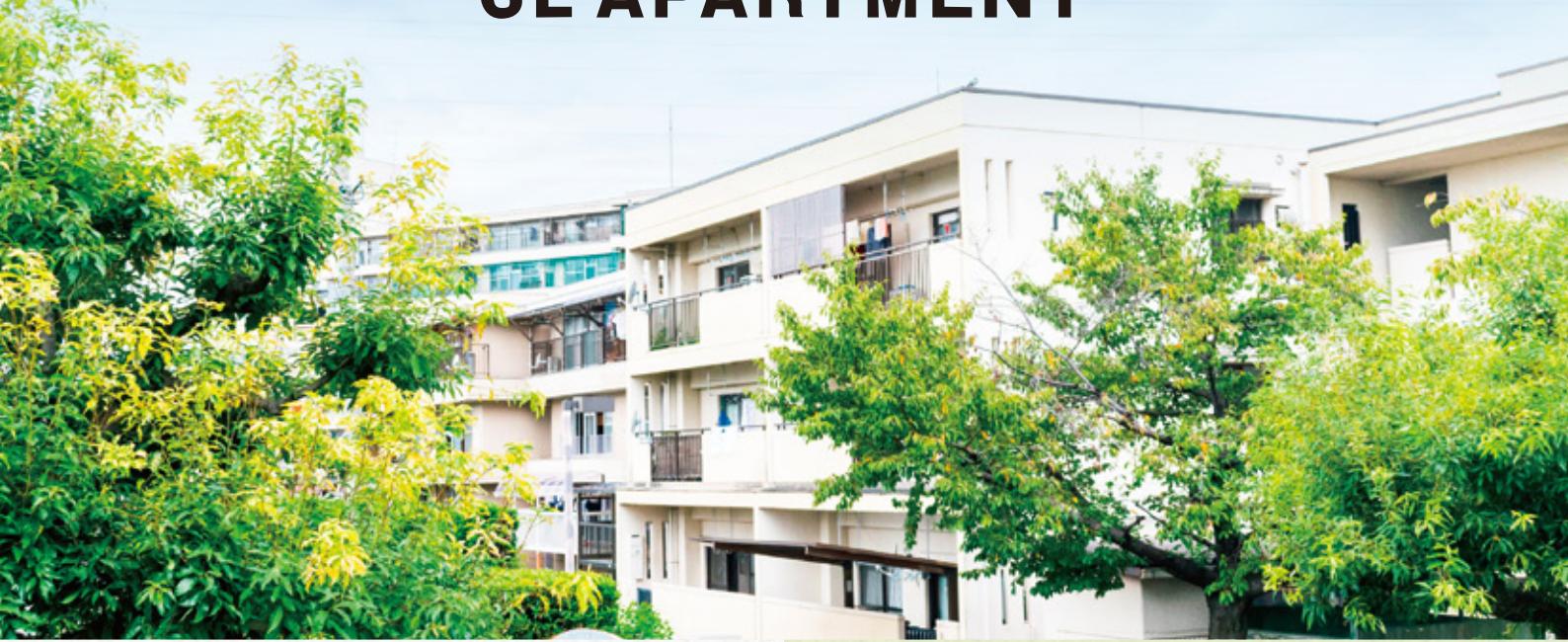




住まうから「暮らす」へ 暮らしから「学び」へ
3L APARTMENT



人口の1割が大学生と言われる京都市。下宿生の多くはマンションに住んでおり「学校と家の往復」という声もしばしば。

ご近所さんと朝あったら「おはよう」と言い合う関係性。地蔵盆をはじめとした、様々な地域行事。

そんな「おつきあい」の中から生まれる、地域とのつながりの中に溶け込み「学び暮らす」スタイルの居住が3L APARTMENTです。

<https://3l-apartment.jp>

連携協定・運営協議会

3L APARTMENT事業を進めていくため、平成31年4月19日に、龍谷大学、田中宮市営住宅自治会、京都市の三者による「公共空間利活用と周辺地域活性化に係る連携協定」の締結式が、龍谷大学深草キャンパスにて開催されました。この締結式では、入澤龍谷大学学長、岡田自治会会长、門川京都市長が共に手を取り、今後の取組に向けた宣言が行われました。

この協定をもとに、協定を締結した三者はもちろん、伏見消防署や京都市伏見いきいき市民活動センターなど、田中宮周辺地域の様々な関係機関が相互に連携し、田中宮に入居する学生の支援、団地のまちづくり支援、事業の検証などを行う運営協議会が組織されました。

大学生の入居による団地活性化事業において、運営協議会のような経常的な協議体を組織することは全国的に珍しく、非常に画期的な取組です。



ご挨拶

京都市長 門川 大作



龍谷大学長 入澤 崇



この度、龍谷大学、田中宮市営住宅自治会、京都市が一丸となって、本事業のような全国的にも画期的な取組が始まることを、大変喜ばしく思います。

近年、生活様式や居住形態の多様化が進み、町内会への加入率が低下し、住民同士の繋がりが希薄になります。本市ではこれまで、高齢化の進む市営住宅において、コミュニティに配慮した団地づくりを進めることを基本方針として、様々な取組を進めてまいりました。

さらに、大学のまち・学生のまち「京都」という強みを生かし、大学の教育、研究成果の蓄積や学生の活力が、地域の課題解決や活性化に繋がるよう、地域と大学の連携をコーディネートする事業を展開してまいりました。

今回の事業は、大学と自治会、そして本市で構成する運営協議会が事業の立案、実施、検証を行い、団地で暮らしながら学ぶ大学生を日常的に支援する仕組みに大きな特徴があります。これまでも、団地の活性化を図るために、大学と自治会、行政が連携協定を結ぶ例はありましたが、こうした運営協議会を組織し、経常的に事業を検証する取組はなく、全国的に非常に画期的な連携といえます。

龍谷大学と田中宮市営住宅自治会、そして本市がそれぞれに協力しながら、大学生の若い感性やエネルギーを新たな活力の源にして、田中宮市営住宅が更に活性化するとともに、龍谷大学の教育の実践の場となることを祈念しています。

本市も、同じように、高齢化や自治会の担い手不足に悩む他の地域に応用できるよう、今回の事業が新しい住民自治の形を模索する場となることを目指してまいります。

龍谷大学は、社会貢献を大学の基本方針の1つに掲げ、2019年度に最終年度となる第5次長期計画第2期中期計画において、地域の発展に向けた取り組みを行う「地域に根ざした大学」を標榜しています。

京都市様の実施する「学まち連携大学促進事業」に2016年度から2019年度の期間で、本学の取組「多文化・多世代協働による地域連携型教育プログラムの展開-学生と地域が共に学びあう『コミュニティベースドラーニング』の実現をめざして-」を採択いただき、支援いただきながら、主体的に地域連携活動に参画する学生を育成し、社会連携・社会貢献事業を推進してきました。

今回の事業は、本学学生が、大学と同じ伏見区にある市営住宅に実際に居住するとともに、田中宮市営住宅自治会に加入し、様々な自治会の諸活動に主体的に参加し、住民と対話することで、地域の持つ課題について実地で学ぶとともに、社会経験を積むことができることに大きな意義があると考えます。

この取り組みは、今年度本学が380周年を迎えるにあたり、基本コンセプトとして掲げた「自省利他」という行動哲学、つまり、他者との関係性を重んじ、他者の幸福のために資するといった考え方、他者のために動くことで成長していく本学の教育、そして何より本学の建学の精神と密接に関わるものだと考えています。

大学のまち・学生のまち「京都」において、本学が地域とともに歩むことで、学生が成長する機会をいただけることを大変嬉しく思います。引き続き京都市様との連携を深めていき、龍谷大学の使命を果たしていきたいと思います。



住まうから「暮らす」へ 暮らしから「学び」へ

全国的に高齢化が進み、地域における自治会の担い手不足が深刻な問題となっている中、京都市では「大学のまち」「学生のまち」といった特徴を活かし、地域コミュニティの活性化を目指しています。京都市の公営住宅においても高齢化が進み、団地のコミュニティの希薄化、地域の担い手不足が課題になっています。

大学生のエネルギーを地域へつなぎ、市営住宅で暮らしながら自治会活動などへ参加していただくことで、「地域コミュニティの活性化」や、大学生のみなさんの「暮らしからの学び」へつなげていきます。本事業は、公営住宅において、大学、公営住宅自治会及び行政が経常的に会議体を設置し、学生と共に団地コミュニティの活性化を図る全国で初めての取り組みです。





3L APARTMENTの舞台「田中宮市営住宅」

入居するお部屋について

田中宮市営住宅の管理事務所がある1棟2階が主な入居スペースです。和室ではありますが、内部は整備済みで綺麗な環境です。

このような居住プロジェクトの場合、シェアハウス型という事も多くあります、田中宮市営住宅では、1部屋ずつ個室が用意されていて、入居してくださる学生のみなさんのプライバートが守られています。

学生居住者は同一棟、同一階ですので、同じ学生同士でコミュニケーションをとっていただきながら生活して頂けます。時には学生同士でご飯会なども開催されています。

1DK 29.1m²



部屋の特徴・設備

■ 設備

トイレ・お風呂はセパレート／お風呂は湯沸かし器が標準で備付け

■ 備付けの家電

冷蔵庫・電子レンジ・一口IHコンロ・エアコン・洗濯機・給湯器・シーリングライト（台所・リビング）



アクセス

田中宮市営住宅

〒612-8444 京都府京都市伏見区竹田田中宮町34番地

■ アクセス

近鉄・地下鉄 竹田駅 徒歩約11分

近鉄伏見駅 徒歩10分

龍谷大学深草キャンパス 自転車10分

■ 周辺施設

ドラッグストア（24時まで営業） 徒歩3分

コンビニエンスストア 徒歩10分

スーパー 徒歩10分

医療機関 徒歩10分

田中宮市営住宅自治会について

平成24年に、岡田俊秋会長（平成24年当時）を中心に、団地内の住民による自治の活性化を目的として「田中宮市営住宅自治会」が設立されました。

新しく設立した自治会であることから、一から取り組みを積み上げていき、徐々に住民のみなさんのつながりの輪が広がっています。



田中宮の取組の一部をご紹介

子どもの見守りパトロールや、防災訓練の実施、竹田学区の運動会のサポートなど、自治会の一員として1年を通し、行事やイベントに参加します。それぞれの地域行事を体験してみてください。



藤森神社 駆馬神事ボランティア

会長は藤森神社駆馬神事の乗子頭をつとめており、全力で駆ける場上での迫力ある曲技を披露しています。伝統行事を守るお祭りのお手伝いをします。



地蔵盆

京都の伝統的な行事、地蔵盆。地域の住民に安心と連帯感を与えてくれる存在として祀られるお地蔵さんを中心に、地元が集まる大事な行事です。



竹田学区 運動会への参加

田中宮市営住宅自治会として竹田学区の運動会へ参加します。少年補導の屋台のお手伝いなど、町毎に割り当てられている役割を担当します。



田中宮ふれあいまつり

地域で途絶えていた夏祭りを十数年ぶりに有志が復活させました。地域で歌い継がれた歌に踊りをつけて、屋台ができたり、毎年工夫が増えています。



田中宮名物！岡田会長の粕汁

会長が蔵元から仕入れてくるおいしい酒粕を使って、手製の粕汁を振る舞われます。これまで粕汁が苦手だった方も絶賛する逸品。



田中宮みゃんぶー子ども食堂

周辺の子どもたちにもお声かけをし、大学生と一緒にごはんを食べます。時には夜に地域の大人たちが「大人食堂」も開催して集まります。

よくあるご質問・学生インタビュー

Q 対象はどんな学生ですか？

京都市と連携協定を結んでいる大学の学生（大学院生含む）が対象になります。



Q 入居までの流れはどのようになりますか？

ホームページをはじめ、大学の担当部署から入居募集の開始についてお知らせさせて頂きます。申請書類に応募を頂いた後、書類選考、運営協議会（協議会長や自治会長などが担当）との面接の後、例年3月末に入居が開始されます。

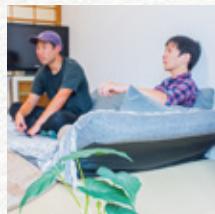
市営住宅での暮らしは？ 田中宮市営住宅に住んでいる学生さんに聞きました！

1. 部屋についてはどう思う？



想像の何十倍もキレイで広いです。市営住宅ということでソコソコの環境というイメージでしたが、フローリングも冷たくないものになっているし、壁紙も張り替えてあるし、環境についてはかなり満足しています。友達が来ても毎回羨ましがられます。

2. 畳だけど、不自由ない？



実家が和室だったので問題無いです。畳だと友人が来た際に床に座れるので逆に便利ですね。使い方によると思います。

3. 周辺環境はどう？



すごく静かな環境で、閑静な住宅街です。24時まであいているドラックストアが歩いて数分です。食料品も飲み物も買ってコンビニよりも便利です。目の前の公園や河川敷の雰囲気もいいです。キンモクセイの香りがしたり、自然を感じますね。

4. 自治会さんとの付き合いはどう？



無理に行事に誘われたりということは無いです。自分の住んでいるところだし、手伝いにいくような感覚です。学業を会長さんたちが理解して優先してくれるなので、無理はないです。



3L APARTMENT プロジェクト@田中宮運営協議会

事務局：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所（担当 三木）

入居に関する詳しい情報は[こちら](#)

📞 075-257-7871

✉ hello@3l-apartment.work

